

長久手古戦場記念館 開館に合わせ

びよりんもなか 22日出陣!!

織田信雄・徳川家康の連合軍と羽柴秀吉軍が争った小牧・長久手の戦い(1584年)を紹介する「長久手古戦場記念館」が、22日オープンする。開館に合わせた新たなお土産として、名古屋名物のひよこ形スイーツ「びよりん」とコラボした「長久手古戦場びよりんもなか」が完成した。(鳥居彩子)

新たなお土産に

びよりんもなかは、長久手市観光交流協会と、同市下権田の和菓子店「浅井屋製菓舗」、愛知淑徳大の学生たちの共同開発。びよりん製造元のシェイアール東海フードサービス(名古屋)が協力した。創業81年の浅井屋製菓舗の看板商品「古戦場もなか」をベースに、びよりんをかたどったお菓子に、食感の皮に、コク深い粒あんをたっぷり詰めた。4代目の若杉真生さん(26)は、割れやすい皮でかわいらしい顔を表現しようと、金型の調整に苦労したと振り返る。「幅広い世代に愛されるように、おんも歌らかく

「長久手古戦場びよりんもなか」を開発した若杉真生さん(左)と、愛知淑徳大の学生たち(右)が、完成したお土産を手にしている。



飲いた」と工夫を凝らす。パッケージには、かぶとをかぶって軍配を掲げる武将姿のびよりんをデザインし、箱成を考えた。学生たちは交流サイト(SNS)でのPRに携わり、自作のテーマ曲や振り付け動画などを発信する予定。林教授は「机上だけでなく実際の場が

浅井屋製菓舗、愛知淑徳大生ら 共同開発

あるのはすばらしい機会で、成長を感じる」と話した。商品発表会が10日、イオンモール長久手であり、長久手市観光交流協会会長をつとめる佐藤有美市長は「連携で新たな価値を生み出す一つのモデルになる」とあいさつ。リリース販売もあり、準備した50箱が20分で売り切れる好評ぶりだった。商品は22日発売。1箱5個入りで税込1620円。記念館と浅井屋製菓舗、あぐりん村で販売する。



22日発売の「長久手古戦場びよりんもなか」

2026年4月11日(土) 中日新聞 16面より
この記事は中日新聞社の承諾を得て掲載しています。